

パイプ

- あるコマンドの標準出力を次に実行するコマンドの標準入力につなぐ機能
- | (縦棒) を使う

例 `ls -l` の結果が1画面に収まらない場合に
`ls -l | more`
などとする

89

パイプの役割

- パイプライン的な処理ができる
`$ echo 3+8 | bc | word | speak`
(`word` や `speak` というコマンドはないが)
- フィルターとしての処理
たとえば、下のように出力を条件で絞る
`$ cat 単語ファイル | 最初はPで始まる |`
`最後はEで終わる | 全部で5文字`
(次の `grep` でいろいろと練習しよう)

90

パイプとリダイレクションは 同時に使える

- たとえば、計算式がfileにあるとして
\$ cat file | bc | word | speak
と
\$ bc < file | word | speak
は同じです

(注) (bc < file) | word | speak
のように順序を明示しないとエラーが出る
こともある